



Regional
Collaboration
03

ビジネスプラン コンテスト出場

自由な発想で地域を活性化

外部の団体が主催するビジネスモデルコンテストに毎年エントリーしている児玉徹教授のゼミ生たち。地域が抱える問題にビジネスの視点からアプローチし、ユニークな改善策を続々と発信してきた。仲間と活発に議論することで発想を膨らませ、自らのアイデアをわかりやすくプレゼンテーションするスキルも体得。柔軟なアイデアで、地域の活性化を目指している。



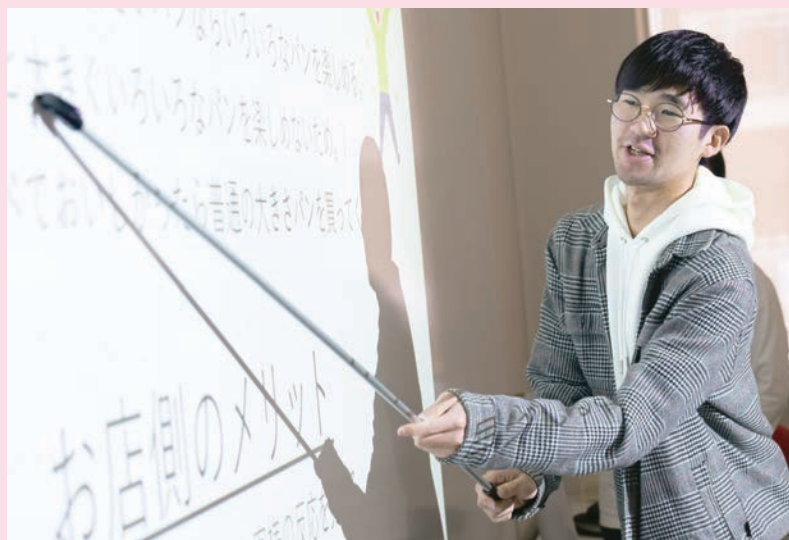
地元の企業や商店を
元気にするプランを提案



チームでユニークな
アイデアを発信



プランを
仲間と熟考



Interview

先生の声

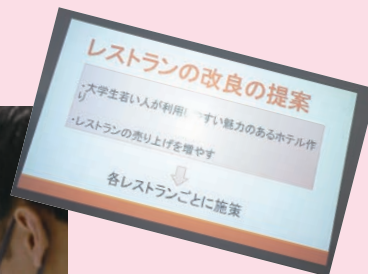
自由に語り合い
アイデアを生む
楽しさを
実感しよう



流通情報学部
児玉 徹 教授

新しい発想を生むのに最適なのは、みんなが自由に「くっちゃべっている」雰囲気。当初は緊張していた学生も、積極的に意見を語るようになりました。社会の多様な課題に視線を向けながら、チームのメンバーから発せられたアイデアを面白がり、さらに面白くする能力を磨いてもらいたい。ゼミには留学生もいますから、ぜひ海外にも視野を広げてほしいですね。

.....
こだま とおる / 食・コンテツなどのクリエイティブ産業に関するマーケティング戦略や知的財産法政策について研究。



リーダーを務めたチームで
コンテストに入賞し
自信がいった!

“ウニ”に着目し、コンテストに入賞

2022年の「Matchみんなのビジネスプランコンテスト」で4位に入賞したチームのプランは、ムラサキウニがテーマ。磯焼けの原因となるウニを陸上養殖することで漁業を守りつつ、雑食性のウニに廃棄予定の農作物を与えて、フードロスも解消するという内容だ。学生たちはコンテストへ向けて授業内で調査とディスカッションを行い、ビジネスモデルを発表し合っている。



高柳 龍矢さん
流通情報学部 流通情報学科 3年
たかやなぎ たつや / 埼玉県出身。
起業の夢に向けて、プレゼンのスキルを磨く。